

## 入学式式辞

穏やかな春の光、校舎を取り巻く木々の新緑、美しい草花がいろどり豊かな季節となりました。この佳き日に、令和5年度 兵庫県立洲本実業高等学校 入学式を挙げるにあたり、同窓会長小村益啓（こむら ますひろ）様、PTA会長 瀬尾 誠（せお まこと）様のご臨席を賜り祝福をいただけますことに、厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。併せて90有余年の伝統を持つ本校での学びに対し、信頼と期待をもってお子様をご入学させていただきますことに深く感謝申し上げます。

本校は島内唯一の専門学科高校として、淡路島内外で活躍する「人財」を数多く輩出してまいりました。この伝統を引き継ぎ、これからの時代を生き抜くために必要な力を身に付けたスペシャリストの育成を目標に取り組んでおります。高度な機械や機器を用いた実践的なものづくり、資格や技術の習得、地域連携型の授業など、専門教育が充実しています。また、社会人の基礎となる、あいさつやマナーに関する指導も行き届いており、礼儀や言葉遣いがしっかりとできる生徒を育成しています。

さて、ただいま入学を許可しました99名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員ともども心から皆さんを歓迎します。皆さんは伝統ある洲本実業高等学校の生徒として、多くの仲間とともに学ぶこととなりました。本日の喜びは、皆さんの努力の結果であることはもちろんですが、家族の方々をはじめ、小中学校でお世話になった先生方など、皆さんを支えてくださった多くの方々のおかげによるものでもあります。このことを心に刻み、感謝の心を持って高校生活を歩み出してください。

みなさんが高校生活を始めるにあたり、まず、本校の校訓を紹介します。校門のところに建っている石碑に書かれた「誠実」と「健康」が校訓です。「誠実」とは、学習や部活動などに取り組む姿勢や、人との付き合い方において、心をこめて他人や自分にいつわりなく行動することです。「健康」はからだの健康だけではなく、心の健康もとても大切です。食事、運動、睡眠、リラックスする時間などを充実させ、ストレスをため込まないことが大切です。みなさんには洲本実業高等学校の生徒として「誠実」と「健康」の精神を忘れずに様々な活動に積極的・意欲的に取り組み、充実した高校生活を送ることを期待します。

そこで、そのスタートにあたり三つのことをお願いします。

一つ目は「自分をほめる」ということです。みなさんはこれまで色んなことで失敗したり、挫折したりした経験があると思います。結果も大事ですがそこに至るまでの努力はもっと大事です。何事にも結果は付いてきますが自分に対して「よく頑張ったな」と自分をほめてあげてください。では、自分をほめるためにはどうすればよいでしょうか。自分にある特徴を強みにして新しいことにチャレンジし、経験を積んで自信を持つ。そして、自分を好きになることです。

二つ目は「出会いを大切にする」ということです。入学生の皆さんや先生方は、ここで偶然出会った仲間ですが、これから毎日一緒に学校生活を送ります。一生の繋がりができることもあります。せっかくの出会いを無駄にしまってはとても寂しい高校生活を送ることになり

ます。まずは、相手の良いところを見つけたり、話を聞いてあげたりして勇気を持ってコミュニケーションを取ることが大事です。意外とすぐに友達になれるかもしれません。先ほどお話しした校訓の「誠実」をもってすれば、良い人間関係が必ず作れます。

三つ目は「自分で考える力をつける」ということです。今の社会は急速に変化し、予測が付かない時代となっており、みなさんにとって「考える力」は社会人基礎力として必ず必要になります。何事もまずは考えてから行動してください。そして、自分の言動や行動には責任を持つ勇気がなければなりません。そして、他人の話や助言にはきちんと耳を傾け色んなことに興味関心を持ってチャレンジしてください。失敗してもかまいません。失敗から学ぶことはたくさんあるので、そこから視野を広げ成長してほしいと願っています。

最後に保護者の皆様、学校と家庭、地域が連携協力してこそ子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「未来を切り拓く力」を養うことができると思っております。本校教職員は、皆様のお子さまの成長を心から願い、寄り添いながら全力で応援してまいります。どうか、本校の教育活動にご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。新入生99名の大きいなる成長を祈りつつ、式辞といたします。

令和五年四月十日

兵庫県立洲本実業高等学校長

朝田 正樹